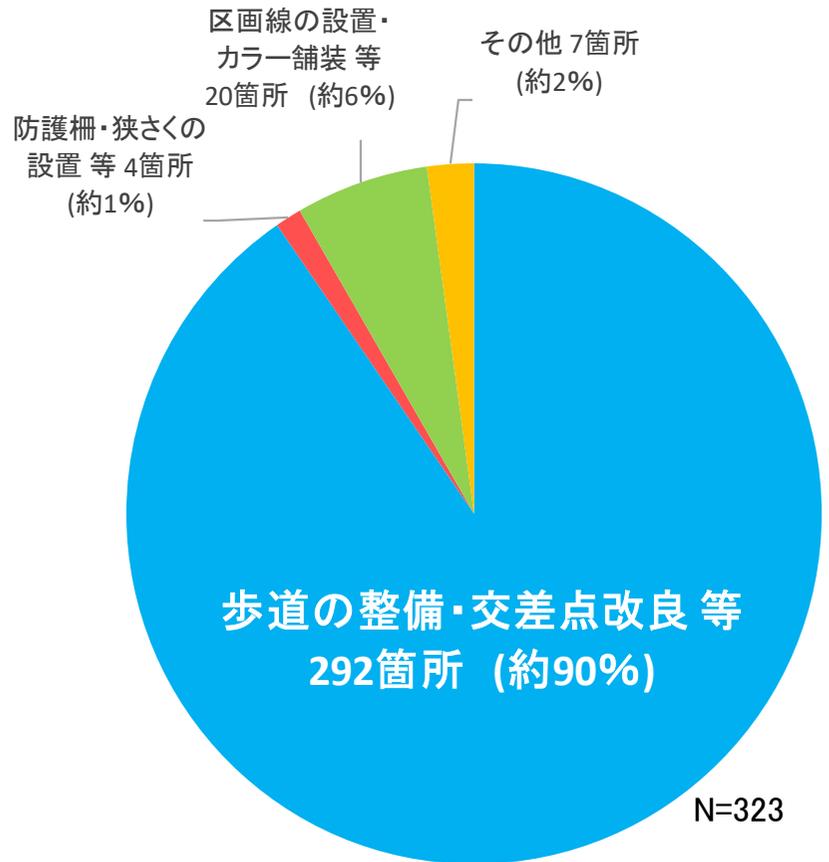
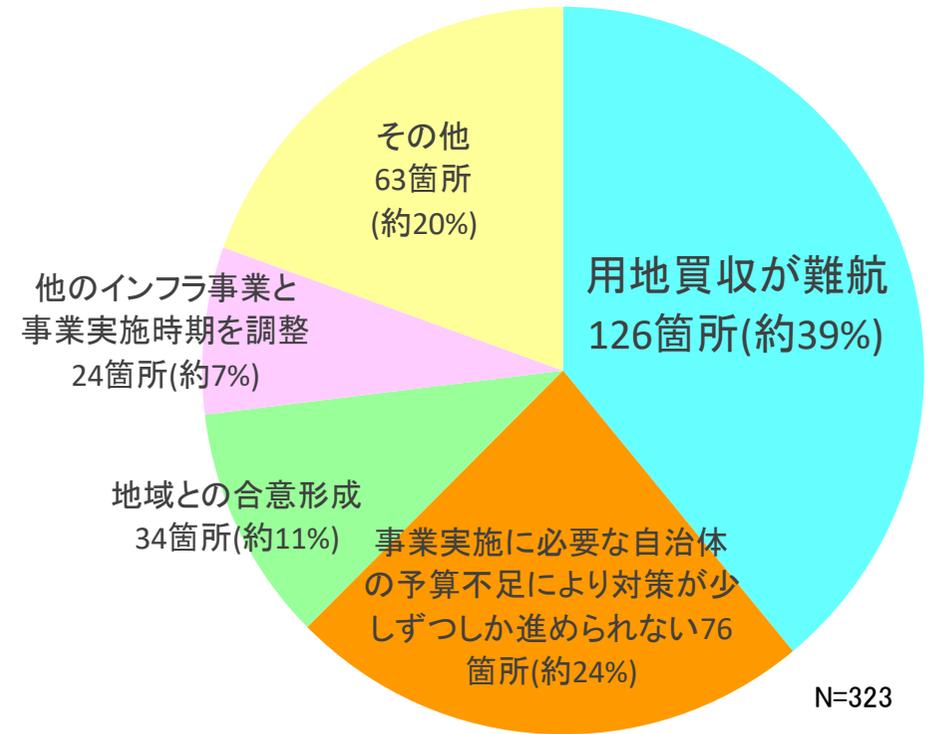


- 道路管理者の対策未了箇所については、歩道整備・交差点改良など、事業に一定の期間を要する対策が約9割を占める【対策の進捗状況：45,060箇所 → 残323箇所（約0.7%）】
- 対策が未了である理由は「用地買収が難航」が約4割、「自治体側の予算が不足」が約2割、「地域等との合意形成」が約1割を占める
- 対策未了箇所においては、ソフト対策を含めた即効性の高い対策を実施し、可能な限り早期の安全確保に努めているところ

対策未了箇所の内訳 (R5年12月末時点)



対策が未了である主たる理由 (R5年12月末時点)



H24通学路緊急合同点検の対策未了箇所の内訳【対策未了理由別・対策実施状況別】

(道路管理者分・R5年12月末時点)

		対策内容				
		歩道の整備・ 交差点改良 等	防護柵・狭さく の設置 等	区画線の設置・ カラー舗装 等	その他	
		323	292	4	20	7
未了 である 主たる 理由	用地買収が難航しているため	126	125	0	1	0
	事業実施に必要な自治体側の予算不足のため	76	62	0	11	3
	地域住民の合意が得られていないため (用地買収を除く)	23	20	2	1	0
	関係機関の合意が得られていないため	11	9	1	0	1
	他のインフラ事業と事業実施時期を 調整する必要があるため	24	18	0	4	2
	災害対応、復興対策などの他の事業が 優先されるため	7	6	0	1	0
	事業主体の土木技術者が不足しているため	1	1	0	0	0
	事業着手後に当初予見できなかった事象が 発生したため	2	2	0	0	0
	その他	53	49	1	2	1

		対策内容				
		歩道の整備・ 交差点改良 等	防護柵・狭さく の設置 等	区画線の設置・ カラー舗装 等	その他	
		323	292	4	20	7
対策 実施 状況	即効性の高い対策 完了	291	267	3	15	6
	本対策または即効性の高い対策 着手済	32	25	1	5	1
	本対策・即効性の高い効対策とも 未着手	0	0	0	0	0